



JRCS Smart Network System

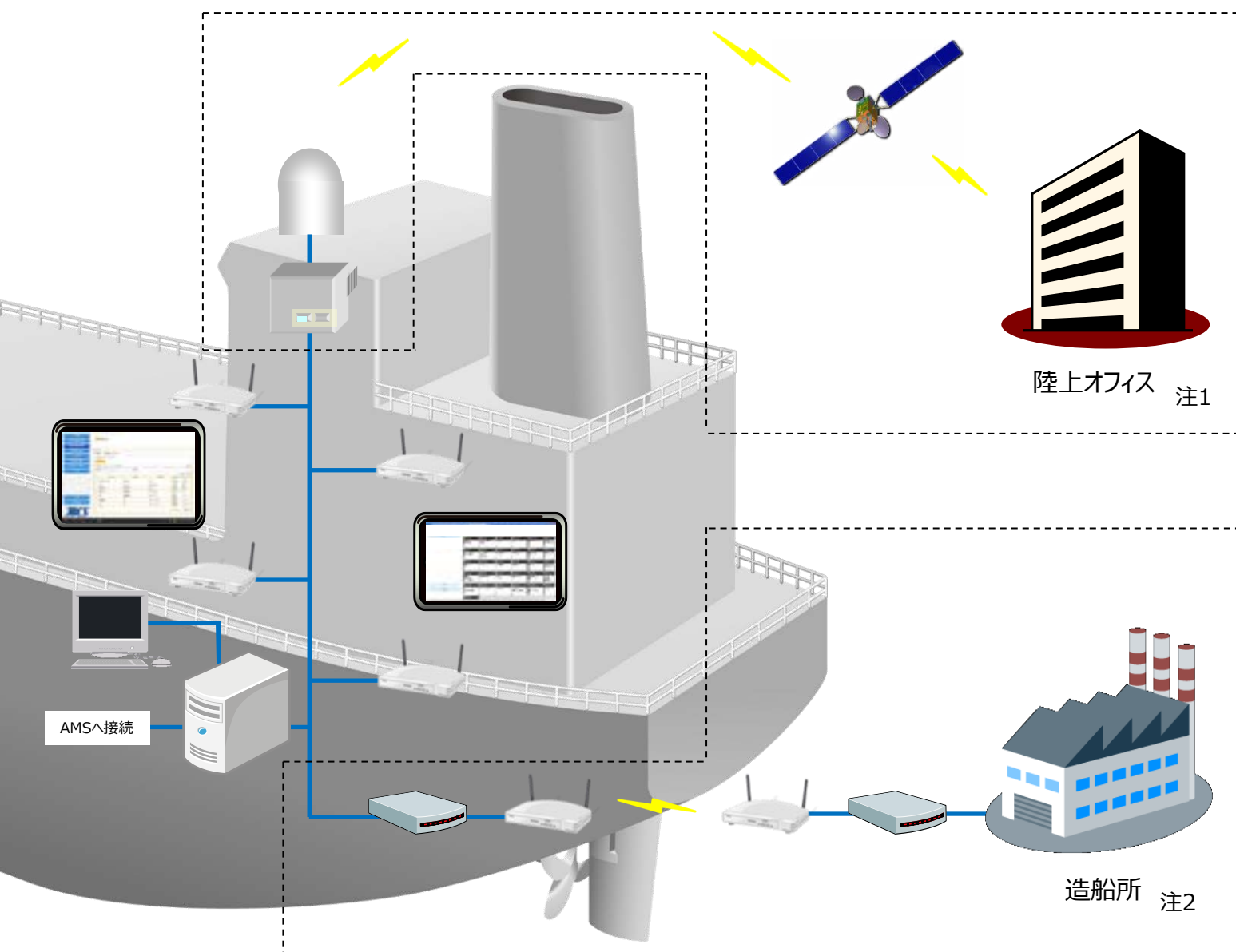
J-S/Net®

Alarm & Monitoring System SMS-55 対応版

「J-S/Net」は、JRCSの登録商標です。

システム概要

J-S/Netは、船舶向け無線LANを使用した船内業務を支援するシステムです。
様々な船内システムやサービスとの連携によるユーティリティをご提供します。



注1：陸上オフィスと接続（オプション）

注2：艤装中の造船所インフラ環境と接続（オプション）

JRCS®

leaf.J-S.net.2024.9J

機能説明

OVERVIEW 画面



無線端末から
ウェブブラウザを用いてAMS SMS-55
のデータの閲覧が可能です。

LOG IN 画面

端末からデータ閲覧を行うにはUser ID
とPasswordの入力が必要となるため、
不正なアクセスを防止します。

GROUP CALL / CHANNEL CALL 画面



AMS SMS-55と同様の操作で
各種画面の閲覧が可能です。

TREND 画面



MIMIC 画面

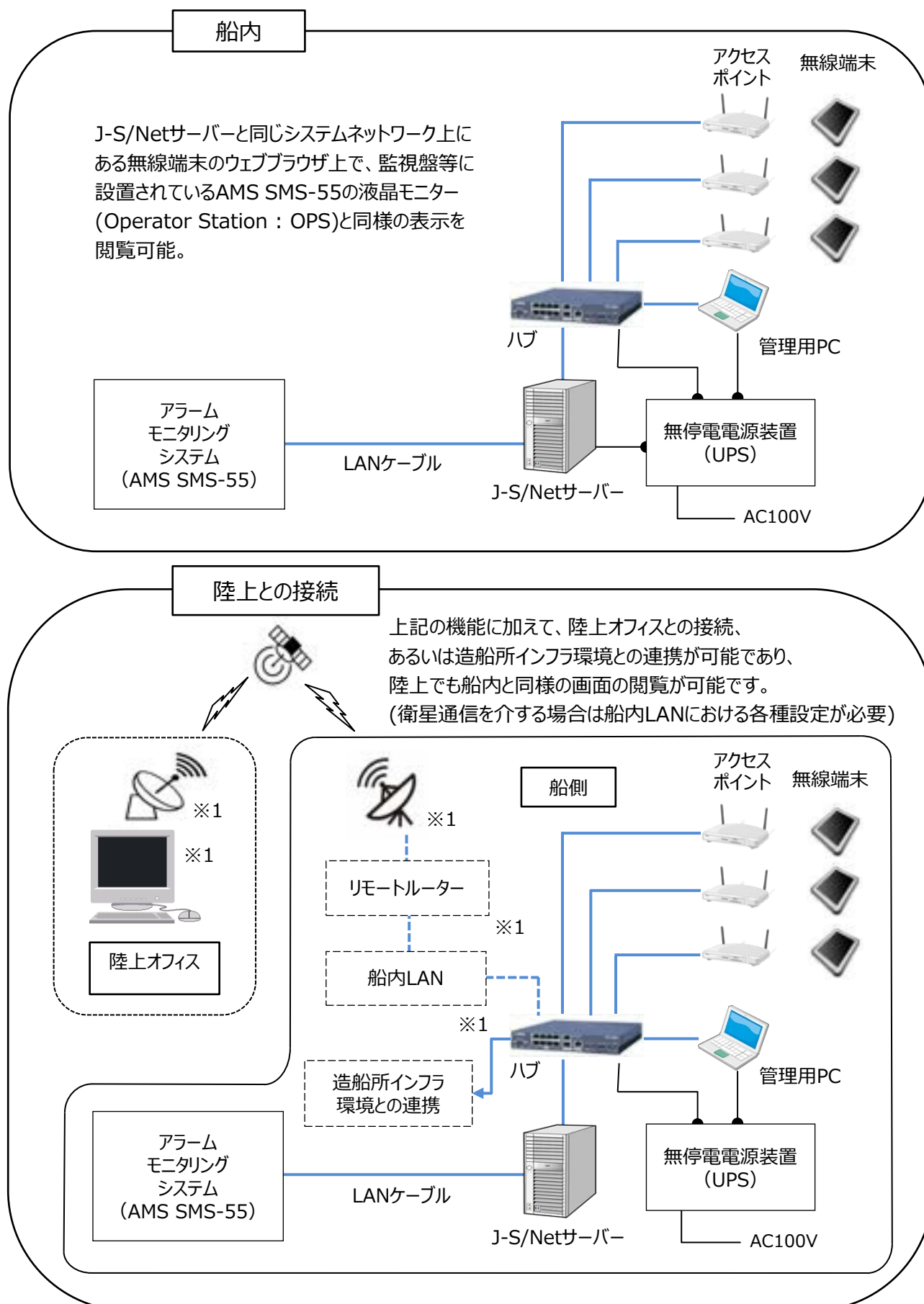


※設定値の変更・操作は行えません。

※一部使用できないAMS SMS-55の
機能があります。

システム構成図

お客様のご要望に合わせて最適なシステム構成をご提供します。



※1マークの付いた機器、および各機器間のケーブルは、JRCS所掌外です。

オプション機能

延長警報機能をご提供します。



各部屋に設置している延長警報盤を擬似的に端末表示する機能です。ただし、船級要求で乗組員居室装備の延長警報盤の代用とはなりません。(併用は可能)

注意事項

電波法について

船内に適用される電波法は、船籍国によります。

海外(日本国外)で使用する場合は、各国の電波法に従う必要があります。

船外に無線電波が漏洩した場合、各国の電波法に適合しないことがあるため注意が必要となります。

無線LANについて

端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業用機器が運用されています。

使用環境によっては、端末と上記(他の無線LAN機器)との間に電波干渉が発生する場合があります。

電波状況とネットワーク負荷により通信状況が変動します。

工事について

就航船と新造船で搭載工事が異なります。

電線手配/敷設と機器設置は別途造船所へ依頼していただく必要があります。

将来的に「J-S/Net」の採用を検討されている場合は、建造時の電線敷設を推奨します。

他ネットワーク(有線、無線)との共用及び接続は出来ない場合もあります。

JRCS指定機種のアラームモニタリングシステムと接続が必要です。

一般仕様

型式	J-S/Net
仕様	Alarm & Monitoring System SMS-55 モニタリング
言語	日本語、英語
最大端末接続数	10台 ※1
陸上オフィスと接続	オプション
造船所インフラ環境と連携	オプション
無線端末OS	Windows, Android ※2

※1：10台を超える端末接続数をご希望の場合は、ご相談を承ります。

※2：標準外OSの利用を希望される際は、事前にご相談下さい。

またお客様により端末をご用意される場合、サーバーとの接続設定が必要となります。

● 画面や仕様は改良のために変更する場合があります。

